

## 平成 19 年度活動報告書（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

### 1. 車いす事業

総参加人数（述べ） 整備 450 名 集荷ボラ 35 名 旅行者 250 名

コーディネータ 120 名 事務スタッフ 720 名 ボランティア 300 名 合計

- ・ 途上国 30ヶ国に 199 台の車いすを送った。新規の国は 9ヶ国（ブルキナファソ、ルーマニア、ブラジル、キューバ、ホンジュラス、パラグアイ、コスタリカ、ナイジェリア、シリア）であった。
- ・ 車いすの提供は、約 250 台、定期的に提供してくれる施設や団体のほか個人寄贈も多い。
- ・ 整備は、桑園倉庫で毎週火曜日午後、整備技術者が定例整備を行っている。整備の質もますます向上している。倉庫を使いやすく改造するシニアもあり快適な空間になっている。
- ・ コーディネート（外国との調整）はシステム化しており、自宅からでも可能に近い。車いすが届いたときには、提供者と同時に倉庫の整備者にも写真を送っている。

### 2. 「飛んでけ！車いす 写真展&整備体験 in 函館・旭川」（北海道新聞社会福祉振興基金助成）

- ・ 札幌以外の会員・一般を対象に、活動を幅広く知ってもらうために「写真展」を開催して、活動を広め、さらに国際協力、国際理解の輪を広げるきっかけを作った。（参加者 160 名）
- ・ 函館では「函とべ会」の会員に中級整備を指導し、また新規整備体験・試乗体験を函館、旭川で行った。（参加者 22 名）

### 3. スタディーツアー&障がい者フォーラム（フォーラムは外務省日タイ修好 50 周年事業助成）

- ・ 毎年恒例のスタディーツアーを、11月にタイのバンコク近辺で行った。そのうち 1日は「日タイ障がい者フォーラム」を実施して、日本からの障がい者 2名と家族 1名の話やタイの障がい児・者事情、課題などを討論し、文化交流などを行い車いすの寄贈もした。参加者は高知など札幌以外からの 5名を含め 16名。その後報告書を作成し、3月にはツアー報告会も開催した。

### 4. 広報活動

- ・ 会報「とべとべ」の発送（36号～38号）、会員の他、旅行者、提供者、寄付者、関係者などに毎回 1000部ほど発送している。
- ・ 英文会報第 1号の作成。（今後、年に 1回は英語圏の日本在住者および海外の団体に送付）
- ・ 講演会 活動紹介のための講演依頼（大学など教育機関 7箇所、その他 2箇所）
- ・ パラダイスカフェ（ネパール編）6月 1日（土）約 40名出席
- ・ PR活動 ジャスコ各店での広報活動 7回 合計 185,000円相当の品物に交換

### 5. 勉強会「知ってるつもり」

第 1回 「飛んでけ」知ってるつもり（9・2 参加者 25名）

第 2回 「シーティング」講座（2・1 参加者 35名）

### 6. その他

- ・ 人材育成事業 札幌国際大学、北海道 YMCA より実習生を 3名受け入れ
- ・ JICA アフリカキャラバン、ファーマーズコンサート、国際協力フェスタ、ライジング

サンロックフェスティバル、「世界を知ろう」、バレンタインチャリティコンサートなどイベントへの参加（延べ75名）

- ・ スワヒリ語講座開催（10回講座）（延べ40名参加）